

平成 22 年度 建設業社会貢献活動推進月間中央行事
事例発表(1)

「口蹄疫防疫対策への支援活動に想う」

平成 22 年 7 月 27 日

社団法人宮崎県建設業協会
会 長 永野 征四郎

口蹄疫防疫対策への支援活動に想う

(社)宮崎県建設業協会 会長 永 野 征四郎

1 口蹄疫の発症

通常、県内各地区建設業協会においては、4月下旬に集中して総会が開催される時期であり、特に今年は、任期満了に伴う役員の選任の時期と重なっていた。事業報告と決算・予算の審議や新旧役員の選任問題で神経を集中していた。



4月20日、宮崎県において口蹄疫第1例目が発症した。県央の北部地域で都農町や川南町において、口蹄疫が発症したことを新聞等到大々的に報じられた。そして、そのままゴールデンウィークに突入した。5月5日までに23例目を数えるにいたった。

連休明けの5月6日(木)、県建設業協会主催の新地区建設業協会会長会議を開催した。任期満了に伴う県建設関連団体の役員割り振りや正・副会長等の選任が主な議題内容であった。

ところが、その席上において、新会長に就任した高鍋地区協会長、小林地区協会長から、4月20日に口蹄疫の第1例目が発症した都農町を皮切りに、川南町へと爆発的に口蹄疫が拡散し、また4月28日にえびの市に飛び火し、その間、昼夜を分かたず殺処分された牛・豚の埋却作業が続いていること、また地区協会員でローテーションを組んで重機の運転作業に従事しているオペレーターからは、家畜の断末魔の鳴き声や屍を目の当たりにしながらの埋却作業で、一人が担当する作業は2～3日が限度であり、食欲もなく食べ物も喉を通らずの状態であるとの報告がなされた。

2 防疫対策への支援活動の問題点と対応

また同時に問題点も提起され、①重機の提供、オペレーターの作業等が大変な状況になっており、既にボランティア活動の域を超えた埋却作業であり、②重機や鉄板の運搬、埋却作業において指示命令系統が輻輳しており、現場での迅速な作業を必要とするときに混乱が生じ、早急に一本化してほしいとの、要望を受け早速その日の内に県協会長と専務理事が県口蹄疫防疫対策本部等へ出向き、問題解決のための要請を行ったところである。



その結果、①については、県に会計支援チームが発足し、また5月7日付けで、口蹄疫防疫対策本部長（東国原英夫県知事）から県建設業協会会長へ正式に防疫対策への協力要請が文書であった。これを受けて、県協会会長名で、県協会として積極的に協力していくことを明確にし、県との防災協定に基づく組織体制で、各地区とも協力して活動するよう要請文書を発出したところである。

②については、それぞれの指示が県防疫対策本部に一本化して、現地対策本部へ指示命令が行われるようになった。情報交換がスムーズとなり、どこで何頭の殺処分を行なうと指示が出れば、それに見合った床掘りができ、その後の埋却作業が、円滑に処理できるようになった。

3 口蹄疫の爆発的拡散と埋却作業

しかし、その後隣接する高鍋町、新富町、木城町、西都市、そして6月9日に国内有数の畜産基地、都城市へ飛び火し、6月10日には耳川を越え日向市へ、また一ツ瀬川を越えて宮崎市へ、6月16日に国富町へと同時多発的に口蹄疫が拡散した。

各市町で殺処分と埋却作業が毎日続いており、その数は、6月24日までに家畜の感染・感染疑い頭数199,276頭が、6月30日までにワクチン接種分家畜76,756頭がすべて殺処分され、建設業者の運転する重機で床掘した深さ4～5メートル長さ10メートルの穴、数百ヶ所に埋却し、埋め戻し作業を行なった。

その後、7月4日再び292例目が宮崎市で発症し、県内26市町村の内5市6町に及ぶ、292戸の農場で発症したことになり、殺処分し埋却された牛・豚等の数は県全体で288,643頭に達した。



4 埋却作業及び消毒作業に使用した重機等

埋却作業に使用した重機等については、4月20日から6月30日までにバックホー延べ2,722台、ダンプカーやタイヤショベルカー等延べ2,573台、発電機は延べ1,022台、水中ポンプ555台、照明器具延べ353台、埋却場所が農地のため地盤沈下防止に使用した覆鋼板(敷鉄板)は、延べ27,420枚を使用しており、それに係わったオペレーターは、延べ4,597人に達している。もちろん7月4日発症の埋却作業分までカウントしている。」



また24時間体制の消毒ポイントでの消毒活動には、ほとんどの建設業協会員が従事しており、作業車延べ1,194台、発電機延べ1,005台、消毒用動噴延

べ128台、照明器具延べ1,194台、消毒マット延べ124枚、ポリタンク延べ1,625個、3交代制等で携わった作業員は、述べ6,696人に達している。詳細は資料のとおりである。

問題点として、大量の家畜を殺処分する絶対的な獣医師不足及び埋却に必要な重機不足があり、また殺処分された家畜の埋却地選定に、農家及び近接の人々の同意を頂くのに時間を要したり、試掘しても水が湧けば環境上ダメで、さらに別の場所を探すことになるなど紆余曲折しながらの埋却作業であり、一つ一つクリアしながらの前進であった。

5 埋却作業に従事したオペレーターの心のケアの問題

冒頭にも述べたように、目の前で殺処分され横たえた家畜1頭1頭の運搬、床掘りした穴に順番に並べ作業、消毒剤の振りかけ作業、埋め戻し作業までの一連の作業を行なっているが、オペレーターの心に受けた傷は計り知れない。今後メンタル面の心のケアが必要になっている。保健所との連携を強化していく必要がある。



6 風評被害に対する早期の払拭と復興活動を

宮崎県内の人々が県外へ営業や国家試験の受検等で移動する場合、宮崎ナンバーの車に対する圧力が厳しく、やむを得ず鹿児島ナンバーを取得し県外へ出向くといったできごとが発生している。

また、宮崎への観光旅行のキャンセルも相次ぎ、建設業を含め商工会議所等への相談等も多く、口蹄疫蔓延防止のため移動制限を受けているため、イベントは中止され、観光・商工業等すべての業界があえいでいる状態であり、復興支援活動が急務となっている。

7 建設業の果たす社会貢献活動の意味

今回の口蹄疫防疫体制に、畜産農家はもとより、県・市・町の行政機関の職員も農場の消毒作業等に従事しながら、建設業のオペレーターが行なう床掘り作業の正確性に驚き、あらためて認識が高まった点であり、それぞれの行政職員が将来土木建設に従事する至ったとき、建設業に対する正しい認識が醸成され



てくるのではないか。

一方、営々と地方(地域)の経済と雇用を守ってきた建設業が、今回の口蹄疫という目に見えないウイルスとの戦いで、取りも直さず県協会を挙げて一致団結し、埋却作業に従事できたことは、台風災害や地震災害以上の危機意識であったと認識し、これぞ社会貢献活動ではなかったか。

また、食料供給基地としての宮崎県の畜産産出額は、平成18年で1,843億円、そのうち牛・豚の産出額は、1,200億円の実績を誇ってきており、残念ながら口蹄疫で殺処分された牛・豚の数が、県全体120万頭の24%に達したことは甚大な災害であり、復興までの道のりが大変である。

その中で、建設業が、県民の安全・安心を守る観点から今回の口蹄疫防疫対策への支援活動を積極的に行ない、結果として宮崎県内のみで終息しえたことへの社会貢献活動であったと自負している(イギリスでは全土に拡大したことと比較すれば)。

1 口蹄疫の発生状況について

- ①最初の発生日:4月20日(都農町)
- ②最後の発生日:7月 4日(宮崎市)
- ③発生した市町村数:11市町
- ④発生した農場数:292戸(関連農場は含まず)
- ⑤患者、疑似患者累計頭数

県全体	牛	豚	その他
211,608頭	37,412頭	174,132頭	64頭

2 ワクチンの接種状況について

- ①ワクチン接種開始日:5月22日
- ②ワクチン接種市町村数:8市町
- ③ワクチン接種農場数:1,011戸
- ④ワクチン接種対象頭数(ワクチン接種後の疑似患者頭数は除外)

県全体	牛	豚	その他
77,035頭	30,854頭	45,902頭	279頭

※その他にはワクチン未接種で処分したイノシシも含む
※ワクチン接種等に係る殺処分頭数については精査中。

3 今回処分した合計頭数

県全体	牛	豚	その他
288,643頭	68,266頭	220,034頭	343頭

(参考)【累計】市町村ごとの処分状況

(単位:頭)

川南町	牛	豚	その他	合計
患者・疑似患者	10,176	144,261	9	154,446
ワクチン畜	3,448	9,619	58	13,125
都農町				
患者・疑似患者	1,803	5,681	43	7,527
ワクチン畜	3,025	5,620	35	8,680
えびの市				
患者・疑似患者	352	320	0	672
ワクチン畜				
高鍋町				
患者・疑似患者	14,577	9,814	2	24,393
ワクチン畜	1,809	4,031	28	5,868
新富町				
患者・疑似患者	3,701	7,479	2	11,182
ワクチン畜	7,025	2,666	72	9,763
西都市				
患者・疑似患者	5,020	0	8	5,028
ワクチン畜	6,721	7,058	65	13,844
木城町				
患者・疑似患者	884	5,238	0	6,122
ワクチン畜	5,542	15,540	18	21,100
都城市				
患者・疑似患者	238	0	0	238
ワクチン畜				
日向市				
患者・疑似患者	364	0	0	364
ワクチン畜	856	600	1	1,457
宮崎市				
患者・疑似患者	54	1,339	0	1,393
ワクチン畜	2,428	768	2	3,198
国富町				
患者・疑似患者	243	0	0	243
ワクチン畜				
合計				
患者・疑似患者	37,412	174,132	64	211,608
ワクチン畜	30,854	45,902	279	77,035
総計	68,266	220,034	343	288,643

※その他は、山羊・羊など牛・豚を除く家畜。

口蹄疫防疫対策作業実績 (作業期間：4月20日～6月30日、7月4日宮崎埋却分)

(社)宮崎県建設業協会

埋却処分(宮崎,都城,小林,西都,高鍋,日向)				作業内容 埋却場床堀 → 運搬 → 投入 → 埋戻し			
【重機関係等】							
バックホ	360	台	延べ	2,722	台	← オペレーター	635 人 延べ 3,323 人
バックホ1.2	8	台	延べ	178	台		延べ 114 人
バックホ0.9	2	台	延べ	17	台		延べ 0 人
バックホ0.7	277	台	延べ	2,260	台		延べ 2,004 人
バックホ0.45	11	台	延べ	11	台		延べ 10 人
バックホ0.4	13	台	延べ	102	台		延べ 1,022 人
バックホ0.25	49	台	延べ	154	台		延べ 173 人
ダンプ・キャリー	170	台	延べ	1,549	台	← オペレーター	延べ 801 人
ダンプトラック4t	92	台	延べ	1,017	台		延べ 715 人
ダンプトラック2t	32	台	延べ	257	台		延べ 80 人
キャリーダンプ 7t	3	台	延べ	35	台		延べ 0 人
キャリーダンプ 6t	13	台	延べ	13	台		延べ 0 人
キャリーダンプ 4t	30	台	延べ	227	台		延べ 6 人
ユニック・アルミトラック	231	台	延べ	252	台	← オペレーター	延べ 7 人
ユニックトラック4t	39	台	延べ	39	台		延べ 4 人
ユニックトラック2t	3	台	延べ	3	台		延べ 3 人
アルミトラック	2	台	延べ	23	台		延べ 0 人
軽トラック	33	台	延べ	33	台		延べ 0 人
一般(通勤)車両	154	台	延べ	154	台		延べ 0 人
タイヤショベル	62	台	延べ	513	台	← オペレーター	延べ 422 人
タイヤショベル1.2	1	台	延べ	10	台		延べ 0 人
タイヤショベル0.5	5	台	延べ	30	台		延べ 0 人
タイヤショベル0.4	52	台	延べ	469	台		延べ 422 人
クレーンショベル	4	台	延べ	4	台		延べ 0 人
フォークリフト2t	39	台	延べ	67	台	← オペレーター	延べ 20 人
ブルドーザー7.15, 25t	5	台	延べ	50	台	← オペレーター	延べ 22 人
ブルドーザー3～4t	6	台	延べ	52	台	← オペレーター	延べ 2 人
クレーン15, 25t	4	台	延べ	36	台	← オペレーター	延べ 36 人
ポンク	6	台	延べ	54	台	← オペレーター	延べ 54 人
発電機	67	台	延べ	1,022	台		
水中ポンプ	61	台	延べ	555	台	仮設トイレ	3 台 延べ 32 台
ハルンライト(照明器具)	63	台	延べ	353	台	チェーンソー	24 台 延べ 25 台
鉄板	2,418	枚	延べ	27,420	枚	草刈機	26 台 延べ 26 台
作業員	410	人	延べ	461	名		
						オペレーター計	4,597 人
【重機運搬等】							
重機名	運搬距離	数量					
25tトレーラー	30Km以下	16	回	(延べ	20 回)		
25tトレーラー	20Km以下	20	回	(延べ	26 回)		
25tトレーラー	10Km以下	56	回	(延べ	56 回)		
10t台車	20Km以下	53	回	(延べ	88 回)		
10t台車	10Km以下	165	回	(延べ	437 回)		
4tユニック車	1日チャーター	5	台	(延べ	73 台)		
25tトレーラー	1日チャーター	26	台	(延べ	74 台)		
8t台車	1日チャーター	35	台	(延べ	35 台)		
10t台車	1日チャーター	10	台	(延べ	100 台)		
台車/ユニック/トレー	1日チャーター	254	台	(延べ	254 台)		
【仮設資材等】							
再生クラッシュラン	2,402	m ³					
アスファルト殻	0	m ³					
砂	848	m ³					
囲い(目隠し)ネット 都城、高鍋				作業内容 埋却場周りの目隠し設置、撤収作業			
バックホ0.2	5	台	(延べ	75 台)	← オペレーター	3 人	(延べ 45 人)
単管(2m)	30	本	(延べ	30 本)	足場材		66 本
単管(1m)	30	本	(延べ	30 本)	丸太杭		30 本
シート、ネット							
作業員	38	人	(延べ	138 人)	都城・高鍋地区協会		
消毒ポイント 下記10地区				作業内容 各消毒ポイントの設営、消毒作業、維持管理			
作業車	138	台	(延べ	1,194 台)	バックホ	6	台
発電機	84	台	(延べ	1,005 台)	タイヤローラ他	6	台
動噴	10	台	(延べ	128 台)	クラッシュラン	3	m ³
ハルンライト(照明器具)	95	台	(延べ	1,194 台)	AS合材	4	t
マット	70	枚	(延べ	124 枚)	看板	6	枚
ポリタンク	179	個	(延べ	1,625 個)	テント	2	張
その他					敷鉄板	10	枚
作業員	1,414	人	(延べ	6,696 人)	シート	6	枚
					土のう	250	袋
消毒ポイント協力協会	10	地区・地域	(宮崎・日南・串間・都城・小林・東諸・西都・日向・延岡・高千穂)				